



Vリーグを世界のトップリーグへ 「スーパーリーグ構想」



T V放送の限界化
体育館確保における競合激化と大会開催の困難化
歯止めのかからない競技者数の減少
大会運営者の世代交代の停滞
スポーツイベントとしてのマンネリ化

Vリーグは存亡の危機に立たされている

バレーボールの魅力を再構築し、現在の閉塞状態をブレイクスルーするには今が最後の機会である。

Vリーグは今こそ一丸となって、できない理由ではなく、どうやったらできるのか、最大の緊張感をもって解決策を見出すことに全力を注がなければならない。

2018/19シーズンより
新しいポリシーを持った新リーグを立ち上げる



バレーボールの未来を切り開く魅力的なリーグ

日本を世界で一番バレーボールが愛されている国にする

バレーボールのビジネス化を追求するリーグにする

クラブで世界一を目指す

1. クローズドシステムからオープンシステムへ

ホームゲームの増加と充実、応援スタイルの変革により、チームとファン、自治体が一体となったビジネスモデルへ

2. 骨太のチーム経営

チームの経営努力がチームに還元される仕組みへ
企業経営ノウハウの積極的活用によるビジネス展開

3. Qualityの追求

スポンサー、支援者、チームにとって投資し甲斐のある大会品質へ
選手のやりがいを高め、青少年に夢を与え、人材供給に正のスパイラル創出

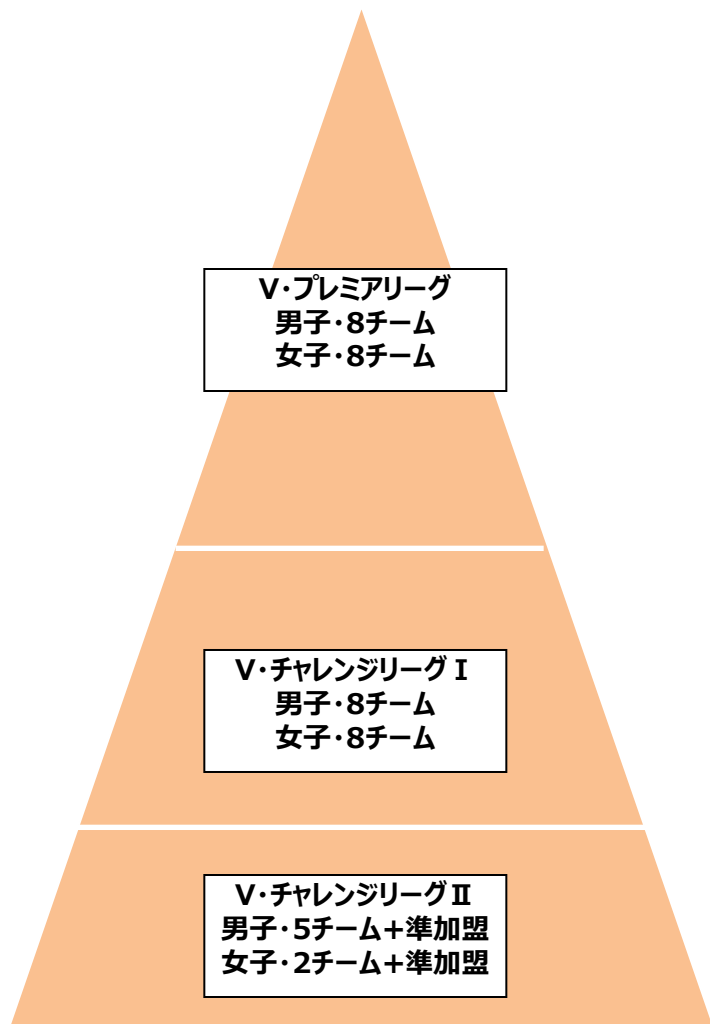
4. 大会運営の合理化

開催地の負担減、審判の負担減により、チーム、開催地、審判にとって持続可能な仕組みを構築

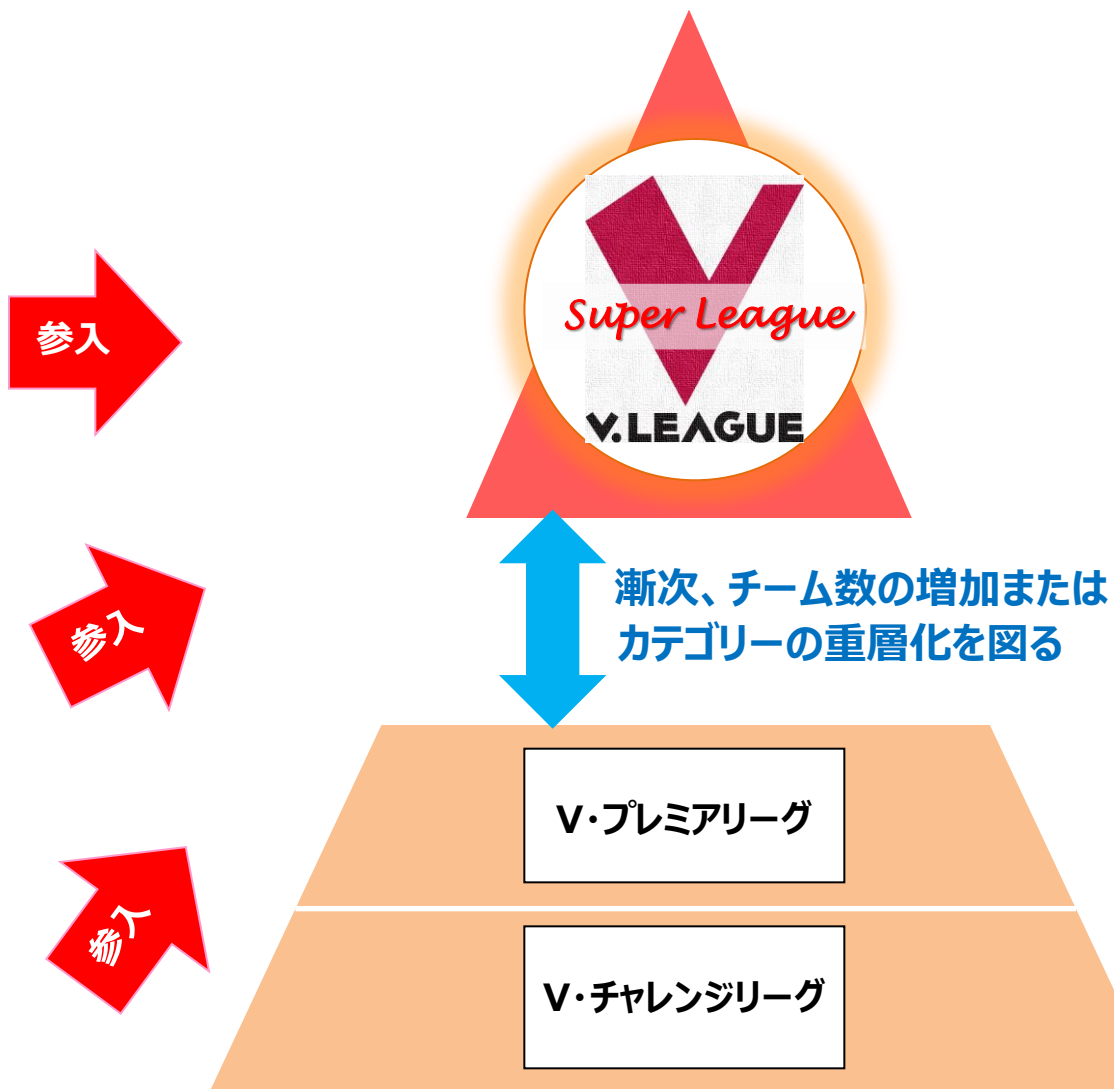
5. ニューマーケットへの展開

映像コンテンツをアジアへ向け発信し、新たなスポンサーメ리트創出

【現在のVリーグ】



【新リーグ構想 (案)】



1.スーパーリーグチーム要件 (案)



運営母体

原則として、バレーボール事業を行うために設立された、**独立した法人**であること。

監査の受忍義務

運営母体となる法人はVリーグ機構による財務内容の監査を受けることを了承するものとする。

財務体質

健全な財務体質と運営ができる人事・組織が確立されていること。

収支構造

チームは当面は人件費、遠征費を含むチーム**運営費の10%以上をホームゲームの開催によって得られる利益により賄うもの**とする。（将来的には30%以上の確保を目標とする）
但し、母体企業から得られる入場料収入及び広告料（協賛金を含む）収入は前記に含めないものとする。

登録可能 選手数

18名（外国籍選手を除く）

外国籍 選手数

1名とする。但し、アジアバレーボール連盟加盟国の国籍を有する選手については別枠で1名の登録を認める。また、外国籍選手はレギュラーシーズン前半終了までは登録変更可能とする。

選手の契約 形態

当面チームの裁量に委ねるが、チームないし、個人の成績が明確に報酬に反映される形式で運用することを強く勧奨する。

監督の契約 形態

母体企業ないしスポンサーから**独立したプロフェッショナル**であることを要する。

スタッフの 構成

次の担当を1名以上置く。

- ①財務担当 ②運営担当 ③セキュリティー担当
- ④広報担当 ⑤マーケティング担当 ⑥メディカルドクター
- ⑦メディカルスタッフ ⑧育成担当者

審判員 保有義務

チームは最低1名、**VリーグS級ライセンス（Vリーグ独自ライセンス）**を保持する審判員を**保有**し、主審または副審として派遣することに同意する。

地域の バックアップ

ホームタウンの行政がチームの**取り組みを支援する姿勢**を文書で具体的に示していること。

チーム名

チーム名称及びチームロゴについて**商標が取得済み**もしくは出願中であること。チーム名にホームタウンの地域が認識できる名称を必ず入れること。尚、チーム名のどこかに企業名を入れることは可とする。

マスコット

マスコットキャラクターを制作すること。

下部組織 保有義務

小学生世代から高校生世代を対象とするユースチームを保有するものとする。カテゴリーについては原則問わないが、**中学生年代のチームの保有は必須**とする。

ただし、常設のバレーボールスクールを保有することでこれに代えることも認める。

ファンクラブ

一般に開放されたファンクラブまたはファンとの交流組織ないし交流機会を設けるものとする。

ユニフォーム

我が国**最高峰のリーグに参加するチームにふさわしく、美観に優れたもの**を採用する。

国体への参加

スーパーリーグ参加チームは国民体育大会へは参加せず、リーグ戦への参加を優先させるものとする。

練習アリーナ

練習アリーナは**自前のアリーナを有していることを原則**とするが、過渡期的措置として、優先的に使用できる体育館を確保していることを最低条件とする。

メディカルチェック

スーパーリーグに参加するチームはトップチームでプレーする全ての選手にVリーグ機構が定めるメディカルチェックを年に1回受診させ、対象選手分をVリーグ機構に提出しなければならない。

規程類の遵守

スーパーリーグの選手はVリーグ機構の定める規程・規約・その他Vリーグ機構の定める事項に同意し、その旨を書面にて提出しなければならない。

2.スーパーリーグの編成（案）



チーム数 東西カンファレンス各 6 チームによる最大12チームとする

対戦方式 レギュラーラウンドと各カンファレンス上位 4 チームによるプレーオフを実施する。**（但し、参戦チーム数に応じて変更）**

試合数

総試合数	: 178試合
1チームあたりの試合数	: 32試合～40試合

- 順位決定方法**
- ① レギュラーラウンド順位はポイント制を採用し、ポイント上位のチームを上位とする。並んだ場合は勝率-セット率-得点率の順で上位チームを上位とする。
 - ② プレーオフの順位決定方法は次頁。

【レギュラーラウンド】

各カンファレンス4回戦（20試合）+交流戦2回戦（12試合）

【プレーオフ】

＜第1ラウンド（2週）＞

- 1・東西各カンファレンスから進出したチームはレギュラーラウンドの順位に応じて、予め持ち点が付与される。
- 2・チームは他のカンファレンスから進出したチームと1回ずつ対戦し、獲得ポイントに持ち点を加えた合計ポイント上位3チームが第2ラウンドに進出する。
- 3・また、上位3チームを除く第1ラウンドのみの獲得ポイント最上位チーム1チームがワイルドカードとして第2ラウンドに進出する。

＜第2ラウンド＞

- 1・「第1R1位 vs ワイルドカード」、「第1R2位vs3位」を2回戦で実施する。
- 2・2回戦を行って勝敗が並んだ場合はゴールデンセットを実施する。

＜第3ラウンド＞

- 1・第2ラウンド勝利チーム同士が1回戦で実施する。
- 2・2回戦を行って勝敗が並んだ場合はゴールデンセットを実施する。

対戦方式の詳細 (案)

レギュラーラウンド

EASTカンファレンス

6チームによる4回戦総当り
+
交流戦2回戦

WESTカンファレンス

6チームによる4回戦総当り
+
交流戦2回戦

プレーオフ

上位4チーム

上位4チーム

第1R

EASTカンファレンス
4チーム

VS
(1回戦)

WESTカンファレンス
4チーム

持ち点+第1R合計ポイント
上位3チーム+ワイルドカード

第3R

2回戦+GS

第2R

2回戦+GS

2回戦+GS

第1R
2位通過

第1R
3位通過

第1R
1位通過

ワイルド
カード

入替戦

スーパーリーグは、**漸次、チーム数の増加またはカテゴリーの重層化を図る。**

開催地

レギュラーラウンドは全てホームゲーム（1日1試合）にて実施する。**（完全ホーム&アウェイ方式）**

ホームゲーム

各チーム16試合のホームゲームのうち、**14試合**は1stホームもしくは、2ndホームで開催しなければならない。残り2試合は第3地域でのホームゲームを行ってもよい。

ホームアリーナ

全てのホームゲームのうち**80%以上は収容客数3,500名以上のアリーナ**にて開催しなければならない。

フロア

原則としてタラフレックスで開催する。

3. スーパーリーグの運営（案）



主催及び 主管

主催：一般社団法人日本バレーボールリーグ機構
主管：ホームチームの運営母体

※ 開催権はVリーグ機構からホームチームの運営母体に対し、大会参加料の対価として譲渡する。

大会費用ならび に収支の帰属

ホームゲームの開催費用ならびに収益はホームチームの運営母体に帰属するものとする。

役員派遣 費用

- ① ホームチームの運営母体が負担するものとする。但し、主審と副審の派遣費用は大会参加料を対価としてVリーグ機構が負担するものとする。
- ② ボールコレクター・モッパ―・会場整理係等は市民ボランティア、チーム関係者、会場近隣の大学等と連携し、ホームチームが用意するものとする。

遠征費の負担

遠征費はアウェイチームがそれぞれ負担するものとする。

但し、大会をセカンドホームならびに第3地域で開催する場合でその遠征費がホーム開催地までの遠征費を越える場合には、ホームゲーム主催チームはその差額18名分を補填するものとする。

応援

原則としてアリーナDJを起用するものし、選手交代等のアナウンスもすべてDJが行うものとする。

ホームゲームの応援はホームチームが希望する通り行うことができることとし、シンセサイザー、その他アンプを利用した応援はホームチームに限って行うことができるものとする。

大会スポンサー

Vリーグの**マーケティング権はVリーグ機構に帰属するが、会場における広告収入等の大会スポンサー権は、大会参加料を対価として、ホームチームに譲渡**するものとする。

ホームチームはVリーグマーケティングスポンサーの権利を害しない限り、自由にスポンサーを獲得し、収入を得ることができる。

募集枠

6チーム～12チームとする

※ 応募資格を有するのは、構想発表時における社員チーム及び社員内定チーム（条件付の場合も含む）とする。

実施可否判断

- ① 参入意向表明チームが6チーム以上の場合、リーグを発足するものとし、準備委員会を立ち上げて、詳細なリーグ設計につき検討開始する。
- ② 参入意向表明チームが10チームに達した場合には、東西2カンファレンス制のリーグ設計とする。

参入意向表明期限

2016年11月30日（水）

「参入意向表明書」提出期限

2017年4月28日（金）

「事業計画書」ならびに「自治体・地元協会・
メインスポンサー予定企業支援確約書」提出期限

スーパーリーグ開幕

2018年秋に開幕